

## 遅延型アレルギー検査

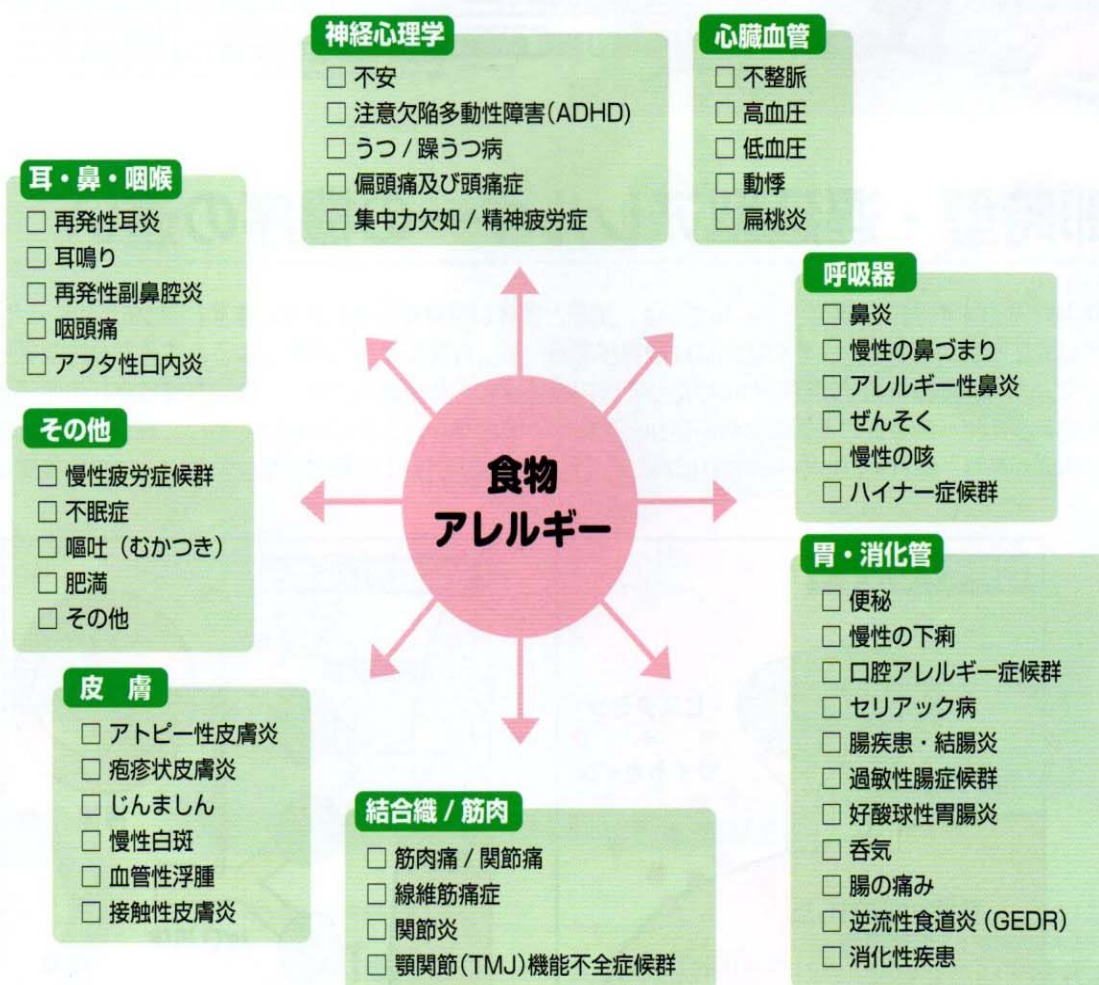
遅延型アレルギーとは、よく知られる即時アレルギーとは違い、IgG依存型食物アレルギーのことであり、発現までに時間がかかることからこう呼ばれます。発現までに早いものでも数時間から数日かかります。一般的なアレルギー症状以外にも片頭痛や慢性の蕁麻疹・消化不良・手湿疹・憂鬱・関節痛・倦怠感・イライラ・集中力の低下など症状は様々です。原因がわからない慢性的なつらさ、何が原因かはっきりしていないアレルゲンを調べることができます。主な食生活に合わせて細かくお調べできます。

フルコース（全219項目） ￥45,000

ハーフコース（120項目） ￥35,000

## 遅延型フードアレルギーの症状の特徴

遅延型フードアレルギーの症状は、体の内外を問わず多岐に渡り、一般的にアレルギー症状とは認識されないものも多く含まれます。更に、メンタル面への影響や肥満との関係も報告されています。また、症状が1種類ではなく、複数の症状が同時に発生していることが多いのも遅延型フードアレルギーの特徴です。



あなたは食べ物で病気になっていませんか？